

Windows Meをご使用の方へ

C79227002

本書の使い方

本書は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（以降WindowsMe）で本機をお使いになる場合の使用方法や注意事項などを記載しています。

本機に添付の『ユーザーズマニュアル』はWindows98、WindowsNT4.0またはWindows2000を使用することを前提に記述されています。このためWindowsMeで本機をお使いになる場合、使用方法などが一部異なります。WindowsMeの使用方法は、Windows98と基本的に同じです。『ユーザーズマニュアル』のWindows98をWindowsMeと読み替えてください。ただし、本書に記載がある事項については、読み替えまたは追加を行ってください。

目次

コンピュータが届いたら	2
ご使用前の確認事項（追加）	2
添付ソフトウェアの概要（読み替え）	3
WindowsMeインストールモデルのセットアップ（読み替え） ...	4
セットアップ終了後の確認事項（追加）	7
WindowsMeの終了と電源の切り方（読み替え）	8
使ってみましょう（読み替え）	9
WindowsMeの再インストール（読み替え）	10
付録	
HDD領域の変更（読み替え）	18

コンピュータが届いたら

追加

ご使用の前の確認事項

本機には、製品情報が記載されたラベルが次の場所に貼られています。本機をご使用前に、ラベルが貼られていることを確認してください。また、ラベルは絶対にはがさないでください。

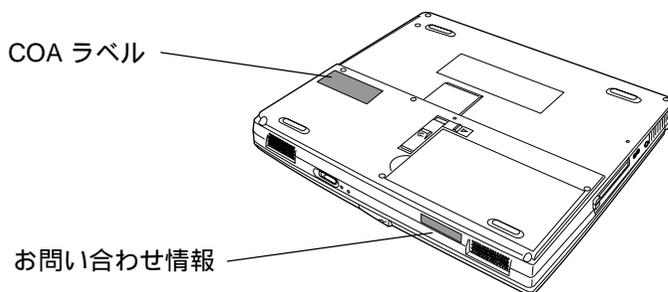
お問い合わせ情報

お問い合わせ情報には、型番や製造番号などが記載されています。弊社へのサポート・サービスに関するお問い合わせをいただく際には、これらの番号が必要です。

製品のサポート・サービスについては、『サポート・サービスのご案内』または『サポートと保守サービスのご案内』をご覧ください。

COA ラベル

COAラベル(Windows Certificate of Authenticity ラベル)は、正規のWindowsを購入されたことを証明するラベルです。絶対にはがさないでください。万一COAラベルを紛失された場合、再発行はできません。



WindowsMeインストールモデルに、標準で添付されているソフトウェアは次のとおりです。購入時の仕様によっては、このほかにも添付されているソフトウェアがあります。

記号の見方

<インストール状態>



: 内蔵HDDにインストールされています。



: インストールされていません。必要に応じてインストールしてください。

WindowsMe Windowsは最新のものがインストールされています。 『WindowsMeクイックスタートガイド』	
ディスプレイドライバ Windowsを高解像度、多色で表示するためのデバイスドライバです。	
サウンドドライバ 音を鳴らしたり、録音するためのデバイスドライバです。	
タッチパッドドライバ タッチパッドを使用するためのデバイスドライバです。	
FAXモデムドライバ (FAXモデム機能内蔵モデル) FAXモデム機能を使用するためのデバイスドライバです。	
ネットワークドライバ (ネットワーク機能内蔵モデル) ネットワーク機能を使用するためのデバイスドライバです。	
3モードFDDドライバ 1.25MBフォーマットのFDを読み書きするためのデバイスドライバです。	
ホットキーユーティリティ ホットキーを割り当てるためのユーティリティです。	
スピードステップドライバ (Pentium 600MHz以上搭載モデル) 使用電源をチェックして、CPUを最適速度で動作させるためのユーティリティです。	
VirusScan for Windows 最新マクロウイルスに対応し、ウイルス駆除もできる高機能なウイルス対策プログラムです。 『VirusScan for Windowsユーザーズガイド (電子マニュアル)』	
Adobe Acrobat Reader 様々なアプリケーションソフトで作成した書類のデザインやレイアウトをそのまま再現するPDFファイルの表示やプリントができるソフトウェアです。	
マニュアル (PDFファイル) 「ユーザーズマニュアル」が、コンピュータ画面上でいつでも見られるようにPDF化されています。	

WindowsMeインストールモデルのセットアップ

コンピュータが届いてから初めて電源を入れたときには、Windowsが起動後、自動的に「WindowsMeセットアップ」が起動します。これは、初めて電源を入れたときに1度だけ起動するソフトウェアです。お使いのシステム環境に合わせて設定を行います。

WindowsMeインストールモデルのセットアップは、次の手順で行います。

1

電源を入れた後、しばらくすると自動的に「WindowsMe セットアップ」が実行されます。セットアップ作業の流れは次のとおりです。画面の指示に従って実行してください。

Microsoft Windowsへようこそ

↓ セットアップを続行するには、[次へ] をクリックします。

使用許諾約款に同意

↓ 画面に表示された契約内容に同意するかしないかを設定します。「同意しません」を選択するとWindowsのセットアップが中止されます。

設定が完了しました

↓ Windowsが正常にインストールされました。[完了] をクリックし、セットアップを続けてください。

お知らせの確認

↓ 本機をお使いになる前に知っておいていただきたい内容が表示されます。必ずお読みください。すべて読み終わったら[OK] をクリックします。

バックアップディスクの作成

バックアップFD作成ユーティリティが起動します。購入時のシステム構成によってバックアップFDの作成が必要な場合は、「ディスクセットの選択画面」が表示されます。必要がない場合は、「...作成する必要はありません。」と表示されます。

 p.6「バックアップディスクの作成」

2

WindowsMe のデスクトップが表示されます。

3

WindowsMeのセットアップ終了後に、次の作業が必要です。

WindowsMe起動ディスクの作成

WindowsMe起動ディスクは、WindowsMeがHDD から起動しなくなった場合などに使用します。必ず作成してください。

 p.7「起動ディスクの作成」

ネットワークに接続する(ネットワーク機能内蔵モデル)

ネットワーク機能を使用する場合は、ネットワークへの接続を行います。ネットワークに関する情報が必要です。ネットワーク管理者の指示に従ってください。

FAX モデムの設定(FAXモデム機能内蔵モデル)

インターネットへの接続が行えるようFAX モデムの設定を行います。

 p.9「インターネットに接続するには」

VirusScan for Windows のインストール

本機のHDD には、「VirusScan for Windows」がインストールされていません。「VirusScan for Windows」をインストールします。

 『VirusScan for Windowsをご使用前に』

ホットキーユーティリティのインストール

本機のHDDには「ホットキーユーティリティ」がインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。

 p.16「ホットキーユーティリティのインストール」

これでWindows が使用できる状態になります。使用前に『ユーザーズマニュアル』p.17と本書p.7の「セットアップ終了後の確認事項」をご覧ください。

Windows の使用方法は、Windowsのオンラインヘルプや、Windows に添付の『クイックスタートガイド』をご覧ください。

次回より、電源を入れると起動後すぐに、Windows が使用できます。

バックアップディスクの作成

バックアップFD作成ユーティリティでは、リカバリCD-ROMに登録されていないドライバや、最新のドライバのバックアップディスクを作成します。作成が必要な場合は、「ディスクセットの選択」画面が表示されます。



制限

バックアップディスクを作成しないと、ソフトウェアを再インストールすることができません。必ず作成してください。

バックアップディスクの作成は、次の手順で行います。フォーマット済みのFDが数枚必要です。必要枚数はシステム構成によって異なります。「ディスクセットの選択」画面で必要枚数を確認してください。画面に表示されるすべてのディスクのバックアップディスクを作成してください。

- 1 バックアップFD作成ユーティリティが実行されると「作成するディスクセットの選択」が表示されます。
- 2 画面に表示されているディスクセットの中から作成したいディスクセットをクリックして、「次へ」をクリックします。
- 3 画面の指示に従ってバックアップディスクを作成します。
- 4 1つのディスクセットの作成が終わったら、同様に次のディスクセットを作成します。作成したディスクには必ずディスク名を明記したラベルを貼り、ライトプロテクトして大切に保管してください。
 『ユーザーズマニュアル』p.61「ライトプロテクト(書き込み禁止)」



参考

バックアップディスクを後で作成するにはWindowsMeのセットアップ中にディスクを作成しない場合は、バックアップFD作成ユーティリティで、「キャンセル」をクリックします。あとから作成するには、「プログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「バックアップFD作成ユーティリティ」を実行します。

起動ディスクの作成

WindowsMe起動ディスクは、次の方法で作成します。フォーマット済みのFDが1枚必要です。

 『ユーザズマニュアル』p.60「FDのフォーマット」

- 1 「コントロールパネル」 「アプリケーションの追加と削除」-「起動ディスク」タブをクリックします。
- 2 ディスクの挿入画面が表示されたら、FDDにFDをセットして、[OK] をクリックします。
- 3 「WindowsMe起動ディスク」と書いたラベルを貼り、ライトプロテクトをして保管します。

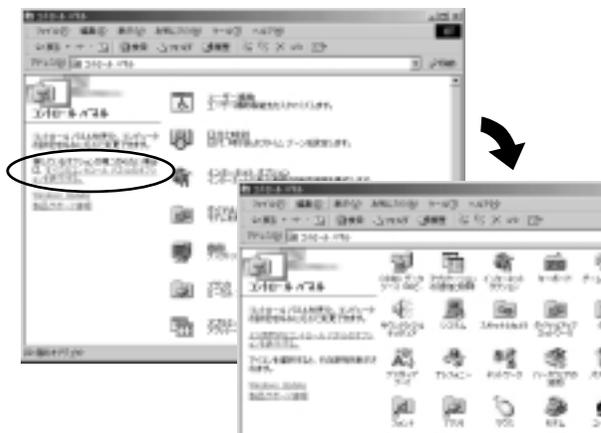
 『ユーザズマニュアル』p.61「ライトプロテクト(書き込み禁止)」

追加

セットアップ終了後の確認事項

コントロールパネルの表示

購入後初めて「コントロールパネル」を開くと、下図の左側の画面が表示されます。この表示はよく使うアイコンのみを表示しています。マニュアル中に記載されている各種設定を行うときに、必要なアイコンが表示されていない場合は、画面左側の「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。



WindowsMe の終了と電源の切り方

次の方法で電源を切ります。

- 1 [スタート]-「Windowsの終了」をクリックします。
- 2 「Windowsの終了」画面で「終了」を選択し、「OK」をクリックします。
- 3 Windowsが終了し、自動的にコンピュータの電源が切れます。
- 4 接続している周辺機器の電源を切ります。

使ってみましょう

読替

この章の記載はすべて『ユーザーズマニュアル』との読み替え部分です。各項目の「p.x」は『ユーザーズマニュアル』の記載ページを示しています。

赤外線通信を使う

SIRで使う場合 p.72

Windows Meでは、SIRで使う場合にWindows98のように手動でドライバをインストールする必要はありません。BIOS設定を変更すると、自動的にSIR用のドライバがインストールされます。

赤外線通信の実行 p.74

赤外線通信は「ワイヤレスリンク」を使用します。「ワイヤレスリンク」の使用方法は、「赤外線通信の実行(Windows2000)」と同じです。

FAXモデムを使う

ATコマンドについて p.88

ATコマンドリファレンス(PDFファイル、英文)は、リカパリCD-ROMの「Modem」フォルダに登録されています。

インターネットに接続するには

接続の手順 p.89

「プロバイダとの契約とアカウントの登録」を行う前に、次の方法で、FAXモデムの「所在地情報」を設定してください。

「コントロールパネル」-「モデム」-「全般」タブ - [ダイヤルのプロパティ]の「所在地情報」タブで、次項目の設定を行います。

国/地域	市外局番
外線発信番号	ダイヤル方法 (トーン/パルス)

省電力機能を使う

Save to Diskモードを有効にするには p.104

Windows Meでは、Save to Diskのための領域は自動的に作成されるので、「STD領域の確保」の必要はありません。また、「休止状態」タブにも、購入時からチェックが付いていますので、「休止状態の設定」も必要ありません。

WindowsMeの再インストール

読替

この章は「Windows98のインストール(p.138)」の章をすべて読み替えてください。

本機はHDDを購入時の状態に戻すことができます。何らかの原因で、Windowsが起動しなくなったり、正常に動作しなくなったりした場合などに、購入時の状態に戻すことで問題が解決する場合があります。WindowsMeインストールモデルでは、Windowsのみを再インストールすることはできません。



制限

HDDを購入時の状態に戻すと、バックアップディスクは作成できません。バックアップディスクを作成していない場合は、バックアップディスクを作成してから、以降の作業を行ってください。

必要なメディア

HDDを購入時の状態に戻すには、次のCD-ROMが必要です。

リカバリCD-ROM

Windowsと各種デバイスドライバが登録されているリカバリCD-ROMです。

ユーティリティCD

VirusScan for WindowsとAdobe Acrobat Readerが登録されているCD-ROMです。

使用するオプション類に必要な各種ドライバディスク

お使いになるシステム構成によって必要なドライバディスクは、異なります。

HDDを購入時の状態に戻す順番

次の順番でHDD を購入時の状態に戻します。

リカバリの実行(p.13)

- ↓ リカバリCD-ROMを使用して、HDD のフォーマット作業およびWindows と一部のデバイスドライバのインストール作業を自動で行います。
バックアップディスク作成ユーティリティは起動しません。

WindowsMeインストールモデルのセットアップ(p.4)

- ↓ 購入時に行ったWindowsMeのセットアップをもう一度行います。
WindowsMe起動ディスクは必要に応じて作成してください。

スピードステップドライバのインストール(p.14)

- ↓ Pentium 600MHz以上を搭載したモデルはインストールを行います。

ネットワークドライバのインストール(p.15)



各種ドライバのインストール(p.16)

お使いの構成にあわせて、ドライバ類のインストールを行います。

HDD を購入時の状態に戻す前の注意

HDD を購入時の状態に戻す場合は、必ず次の点を確認してから作業を始めてください。

リカバリの実行

リカバリを実行すると、HDDがフォーマットされ、Cドライブのデータはすべて消去されます。HDD上の重要なデータは、FDなどにバックアップしておいてください。

1つのHDDにCドライブのほかに、Dドライブ以降の領域を作成してある場合は、リカバリを実行する前にDドライブ以降に登録されている重要なデータをFDなどにバックアップしておいてください。リカバリ実行中にトラブルが発生した場合、Dドライブ以降の領域が消滅する可能性があります。

リカバリ実行後のセットアップでは、バックアップFD作成ユーティリティは起動しません。バックアップディスクを作成していない場合は、リカバリを実行する前に、必ずバックアップディスクを作成してください。  p.6

本機の購入時のHDDは、FAT32ファイルシステムを使用してWindowsをインストールしています。ファイルシステムを変更しても、リカバリを実行するとFAT32ファイルシステムでWindowsがインストールされます。

「リカバリCD-ROM」は、本機以外のコンピュータでは使用できません。

「リカバリCD-ROM」で、Windowsのみをインストールすることはできません。

リカバリ実行中は、「リカバリCD-ROM」を抜かないでください。

Windowsの セットアップ

本章の手順は、購入時のシステム構成を前提に記載しています。本機を購入後に周辺機器を取り付けた場合は、手順が異なる場合があります。正常にインストールできない場合は、購入時のシステム構成に戻してみてください。

デバイスドライバをインストールしたり、周辺機器を接続したりするときに、「Windows CD-ROM」を要求されることがあります。このような場合は、「リカバリCD-ROM」をセットせずに、「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を指定してください。



弊社製以外のBIOSを使用すると、HDDを購入時の状態に戻すことができなくなります。

リカバリの実行

次の手順でリカバリを実行します。

- 1 コンピュータの電源を入れて、「BIOS Setup ユーティリティ」を実行します。
 『ユーザーズマニュアル』p.121「BIOS Setup ユーティリティの起動」
- 2 「Boot メニュー画面」-「ATAPI CD-ROM」の起動順位を1番に変更します。
 『ユーザーズマニュアル』p.132「Boot メニュー画面」
- 3 「リカバリCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。
- 4 「Exit メニュー画面」-「Exit Saving Changes」で Yes を選択し、「BIOS Setup ユーティリティ」を終了します。コンピュータが起動します。
- 5 「EasyRestore」画面が表示されたら、 続ける をクリックします。
- 6 「警告」画面が表示されます。 はい をクリックします。
- 7 ファイルのコピーが始まります。ファイルのコピーには、10分程かかります。
- 8 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、CD-ROMドライブから「リカバリCD-ROM」を抜いて 再起動 をクリックします。
- 9 コンピュータ起動時に「BIOS Setup ユーティリティ」を起動して、起動順位をもとに戻します。
- 10 再起動時に機種によってはドライバ類がインストールされることがあります。「再起動しますか?」と表示されたら、 はい をクリックします。

プリンタなどの周辺機器を接続している場合は、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されることもあります。その場合は キャンセル をクリックし、HDDを購入時の状態に戻してから周辺機器に添付のマニュアルを参照してデバイスドライバのインストールを行ってください。
- 11 コンピュータが再起動するとWindowsのセットアップが始まります。これでリカバリの実行は終了です。
 p.4「Windows Meインストールモデルのセットアップ」

スピードステップドライバのインストール

(CPU Intel Pentium III 600 MHz 以上搭載モデル)

- 1 「リカバリCD-ROM」をCD ROMドライブにセットします。
- 2 [スタート]-「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 「名前」に次のとおり入力して、[OK]をクリックします。
D:¥ SPEEDSTEP¥ SETUP
(CD-ROMドライブがDドライブの場合)
- 4 「ようこそ」画面で [次へ] をクリックします。
- 5 「製品ライセンス契約」画面で [はい] をクリックします。
- 6 「セットアップの完了」画面で「はい直ちにコンピュータを再起動します。」にチェックを付けて [完了] をクリックします。
Windows が再起動するとインストールは終了です。

ネットワークドライバのインストール

- 1 「リカバリCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 [スタート]-「設定」-「コントロールパネル」をクリックします。
- 3 「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 4 「ネットワークアダプタ」の「Realtek RTL8139(A/B/C 8130)...」をダブルクリックします。
- 5 「ドライバ」タブの[ドライバの更新]をクリックします。
- 6 「適切なドライバを自動的に検出する。」にチェックを付けて、[次へ]をクリックします。
- 7 「ファイルのコピー:RTL8139.sysが見つかりませんでした。」と表示されたら、コピー元に次のとおり入力して、[OK]をクリックします。
D:¥LAN (CD-ROMドライブがDドライブの場合)
- 8 「ハードウェアデバイス用の更新されたドライバのインストールが完了しました。」と表示されたら[完了]をクリックします。
- 9 「再起動しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。
Windows が再起動するとネットワークドライバのインストールは終了です。

各種ドライバのインストール

お使いになるシステム構成によって、ドライバやユーティリティのインストールが必要です。本機でお使いになるオプション類のマニュアルをご覧になって、各ドライバのインストール作業を行ってください。



インストールが必要なドライバの例

お使いになる仕様によって次のようなドライバやユーティリティが必要になります。

プリンタを使用する場合: プリンタドライバなど

USB機器を接続する場合: USB機器のドライバなど

ホットキーユーティリティのインストール

ホットキーユーティリティは必要に応じてインストールしてください。

- 1 「リカバリCD-ROM」をCD ROMドライブにセットします。
- 2 [スタート]-「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 「名前」に次のとおり入力して、[OK]をクリックします。
D:¥HOTKEY¥SETUP（CD-ROMドライブがDドライブの場合）
- 4 「Welcome」画面で[Next]をクリックします。
- 5 「Choose Destination Location」画面で[Next]をクリックします。
- 6 「Select Program Folder」画面で[Next]をクリックします。
- 7 「メモ帳」画面が表示されます。画面右上の をクリックして閉じます。
- 8 「Setup Complete」画面で[Finish]をクリックします。
これでホットキーユーティリティのインストールは終了です。

タッチパッドドライバのインストール

外付けのPS/2マウスを使用した場合など、一度アンインストールしたタッチパッドドライバを再インストールする場合は、次の手順で行います。

- 1 「リカバリCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 [スタート]-「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 「ファイル名」に次のとおり入力して [OK]をクリックします。
D:¥TOUCHPAD¥WINME¥SETUP
(CD-ROMドライブがDドライブの場合)
- 4 「ようこそ」画面で [次へ]をクリックします。
- 5 「インストール先の選択」画面で [次へ]をクリックします。
- 6 「ファイルコピーの開始」画面で [次へ]をクリックします。
- 7 「セットアップ完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」にチェックを付けて [終了]をクリックします。
Windows が再起動するとタッチパッドドライバのインストールは終了です。

付録

読替

HDD領域の変更

起動方法

『ユーザーズマニュアル』p.211

次の方法でWindowsMeを起動し、コマンドプロンプトを表示させます。

- 1 コンピュータの電源を入れて、「BIOS Setup ユーティリティ」を実行します。
 『ユーザーズマニュアル』p.121「BIOS Setup ユーティリティの起動」
- 2 「Boot メニュー画面」-「ATAPI CD-ROM」の起動順位を1番に変更します。
 『ユーザーズマニュアル』p.132「Boot メニュー画面」
- 3 「リカバリCD ROM」をCD ROMドライブにセットします。
- 4 「Exit メニュー画面」-「Exit Saving Changes」で Yes を選択し「BIOS Setup ユーティリティ」を終了します。
- 5 コンピュータが再起動して「EasyRestore」画面が表示されたら、 キャンセル をクリックします。
- 6 画面左上にコマンドプロンプト(A:¥>)が表示されます。

HDD領域の変更作業が終了したら、「BIOS Setup ユーティリティ」を実行して、起動順位を戻しておいてください。

